

登録コード	TSG38600	開講年度	2026			
授業科目	高効率電力システム演習				担当教員	曽根原 誠
英文授業名	High-efficiency Power System Tutorial 2				副担当	
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室			授業形態	演習	備考	高効率電力システム（曽根原）研究室所属の学生に限る。
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				【授業の達成目標】	
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ, 2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ					
	【専攻】環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える工学分野の高度な専門知識と実践的技術力				高効率電力システムおよびそれに関連する電子部品・材料の基本的な知識を演習を通じて修得できるようになる。	
	【専攻】専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力				高効率電力システムおよびそれに関連する電子部品・材料の基本的な知識を演習を通じて修得できるようになる。	
(2)授業の概要	高効率電力システムおよびそれに関連する電子部品・材料の基本的な考え方を学習した後, 応用回路などを適用した際の考え方を『修士 2 年生時の修士論文の研究を通じて』学習する。					
(3)授業計画	1 年間の修士論文ための研究を通じて, 研究進捗報告会 (RPM) などの研究室ゼミおよび学外の学会などで発表する。また他研究テーマについても学習する。更に2月上旬頃の修士論文発表会で修士論文の内容を発表する。 時間の目安として, 1.5 h/週 × 50 週/年 = 75 h/年である。					
(4)成績評価の方法	・研究進捗報告会 (RPM) などの研究室ゼミおよび学外の学会, 修士論文発表会などの報告を基に総合的に評価する。					
(5)成績評価の基準	・【授業の達成目標】に記載の内容に対して, 合格水準にあれば60点以上70点未満, 前記よりもやや上にあれば70点以上80点未満, 前記よりもかなり上にあれば80点以上90点未満, 前記よりも卓越していれば90点以上とする。 ・大凡の目安として, 研究進捗報告会 (RPM) で1/2以上発表している場合は「優」相当とする。					
(6)事前事後学習の内容	・主に(4)成績評価の方法に記載の内容に対して, 教員や同席の学生からのコメントに対して適宜追加実験や参考文献の調査などをして, 次回の発表までに回答できるようにする。					
(7)履修上の注意	・研究進捗報告会 (RPM) などの研究室ゼミには毎回参加すること。 ・適宜学外の学会で発表すること。 ・修士論文発表会で必ず発表すること。					
(8)質問,相談への対応	・質問は教員室 (W6-109) にて随時受け付ける。 ・事前に電子メール (makoto@shinshu-u.ac.jp) に連絡すること。					
(9)その他						
【教科書】	・指定しない。					
【参考書】	・指定しない。					